

## 第3章 温室効果ガスの状況

## 第3章 温室効果ガスの状況

### 第1節 温室効果ガス排出量・吸収量

#### 1) 温室効果ガス排出の状況

本市の平成29(2017)年度の温室効果ガス排出量は2,430千t-CO<sub>2</sub>、森林による二酸化炭素の純吸収量<sup>6</sup>は38千t-CO<sub>2</sub>、温室効果ガス実質排出量<sup>7</sup>は2,392千t-CO<sub>2</sub>であり、福島市地球温暖化対策実行計画(平成23年3月策定)における基準年(平成19年度)と比較して、約3.4%の減少となっています。

平成19(2007)年度以降、平成22(2010)年度までは減少傾向で推移したものの、東日本大震災の影響等により増加傾向に転じましたが、その後、再生可能エネルギーの導入等により平成28(2016)年度以降は減少傾向で推移しています。

表3-1-1 温室効果ガス排出量・吸収量

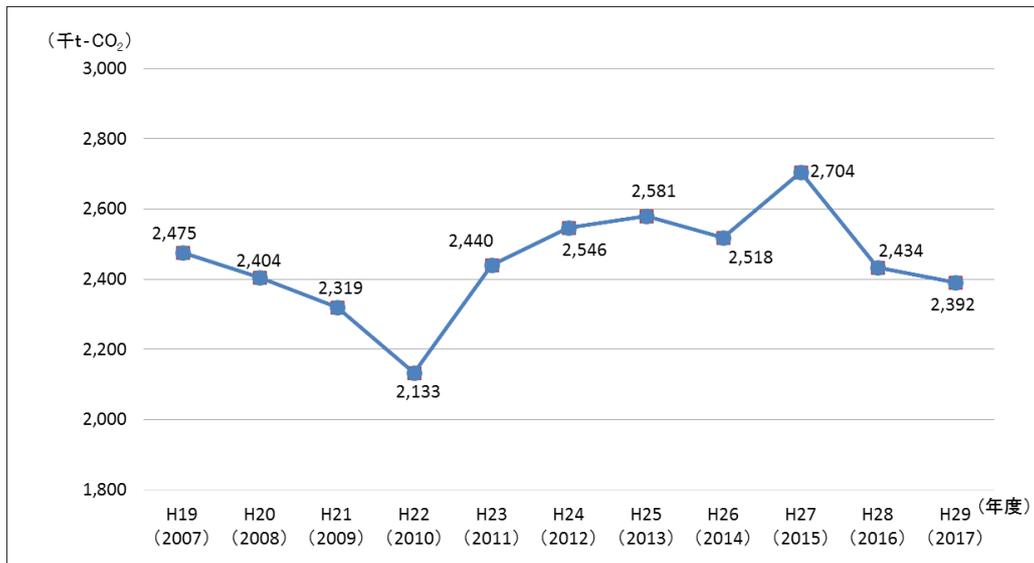
年度		H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)		
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	産業部門	農林水産業	2	2	4	4	5	5	4	4	4	4	4	
		建設業・鉱業	48	43	51	55	54	56	58	39	45	39	41	
		製造業	746	712	637	555	672	640	707	689	669	565	525	
		小計	795	757	692	613	731	702	769	733	718	608	570	
	家庭部門	551	552	525	485	572	647	613	618	584	538	563		
	業務部門	522	507	520	506	621	643	644	613	612	520	505		
	運輸部門	自動車	旅客	341	339	342	259	252	253	254	253	436	432	423
			貨物	216	205	200	244	235	240	249	253	300	291	287
		小計	557	544	542	503	487	493	503	506	736	722	710	
		鉄道	18	18	18	16	21	23	22	21	21	21	20	19
	小計	575	562	560	519	508	516	525	528	756	742	729		
	合計	2,443	2,379	2,297	2,124	2,431	2,507	2,550	2,492	2,670	2,408	2,367		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	廃棄物分野	一般廃棄物焼却	44	35	36	24	23	53	46	43	52	42	43	
合計	44	35	36	24	23	53	46	43	52	42	43			
<b>二酸化炭素排出量 総計</b>		<b>2,487</b>	<b>2,414</b>	<b>2,333</b>	<b>2,148</b>	<b>2,455</b>	<b>2,560</b>	<b>2,596</b>	<b>2,535</b>	<b>2,722</b>	<b>2,450</b>	<b>2,410</b>		
メタン (CH <sub>4</sub> )	農業分野	耕作	10	10	10	10	10	9	10	10	9	8	8	
		畜産	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	
		農業廃棄物	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
		小計	13	12	13	14	14	13	14	13	11	11	11	
	廃棄物分野	一般廃棄物焼却	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
		排水処理	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	
小計	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2			
合計	15	15	16	16	16	15	16	15	13	13	13			
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	農業分野	耕作	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
		畜産	3	3	3	6	6	6	6	6	4	4	4	
		農業廃棄物	0.0003	0.0003	0.0003	0.0003	0.0003	0.0003	0.0003	0.0003	0.0002	0.0002	0.0002	
		小計	4	4	4	6	6	6	6	6	5	5	5	
	廃棄物分野	一般廃棄物焼却	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		排水処理	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
小計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
合計	7	7	7	9	9	9	9	9	8	7	7			
<b>温室効果ガス排出量 総計</b>		<b>2,509</b>	<b>2,436</b>	<b>2,355</b>	<b>2,172</b>	<b>2,479</b>	<b>2,584</b>	<b>2,621</b>	<b>2,569</b>	<b>2,743</b>	<b>2,471</b>	<b>2,430</b>		
CO <sub>2</sub> 吸収量	森林による吸収量	34.55	31.35	35.86	39.41	39.55	38.26	40.25	41.10	38.95	37.00	38.35		
	主伐に伴う排出量	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03		
	純吸収量	35	31	36	39	40	38	40	41	39	37	38		
<b>温室効果ガス実質排出量</b>		<b>2,475</b>	<b>2,404</b>	<b>2,319</b>	<b>2,133</b>	<b>2,440</b>	<b>2,546</b>	<b>2,581</b>	<b>2,518</b>	<b>2,704</b>	<b>2,434</b>	<b>2,392</b>		

注 「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)」策定・実施マニュアル(平成29年3月)に基づき算定

<sup>6</sup> 純吸収量=[森林による吸収量]-[主伐による排出量]

<sup>7</sup> 温室効果ガス実質排出量=[温室効果ガス排出量]-[純吸収量]

図3-1-1 温室効果ガス実質排出量の推移



## 2) 部門別の温室効果ガス排出量

本市の平成 29 年度温室効果ガス排出量を部門別にみると、産業部門が 570 千 t-CO<sub>2</sub> (排出量全体の 23.4%、平成 19 年度比 28.3%減少)、家庭部門が 563 千 t-CO<sub>2</sub> (同 23.2%、同 2.2%増加)、業務部門が 505 千 t-CO<sub>2</sub> (同 20.8%、同 3.3%減少)、運輸部門 729 千 t-CO<sub>2</sub> (同 30.0%、同 26.8%増加)、その他、廃棄物及び農業分野からの排出量が 63 千 t-CO<sub>2</sub> (同 2.6%、同 4.5%減少) となっています。

図3-1-2 部門別温室効果ガス排出量

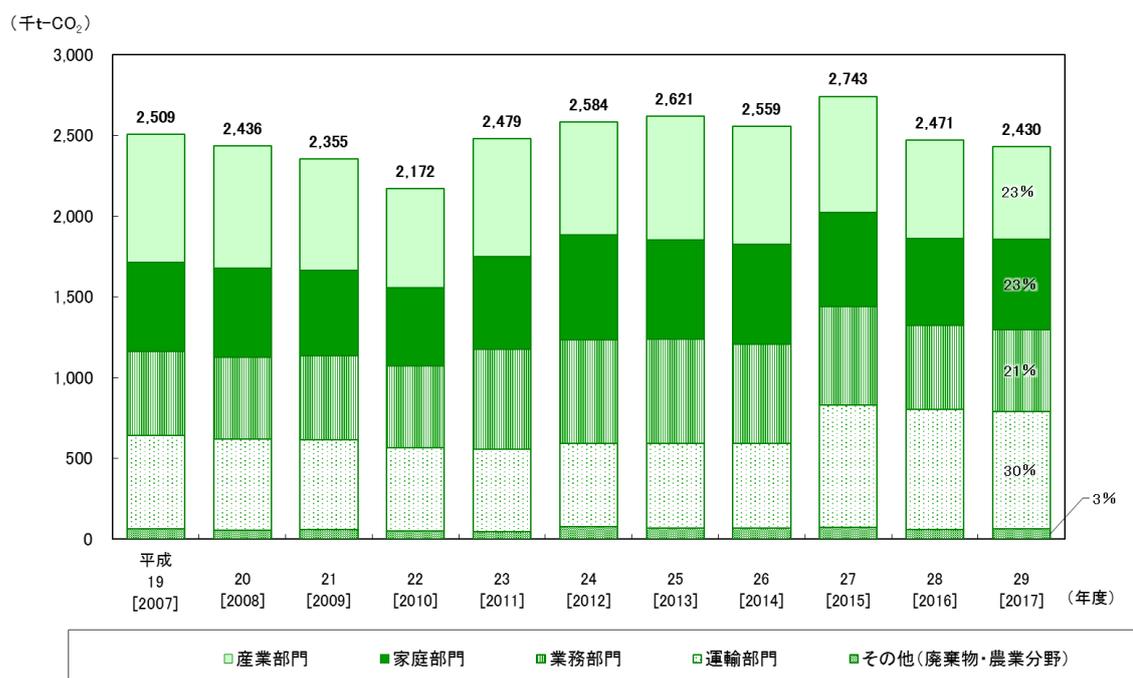
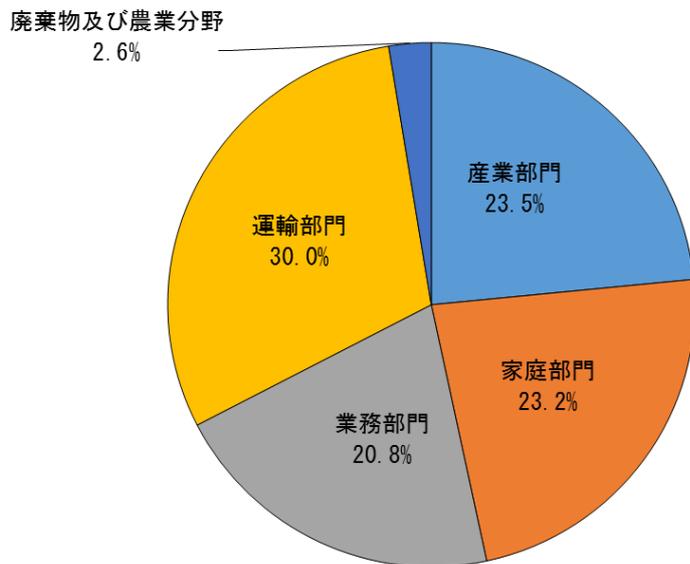


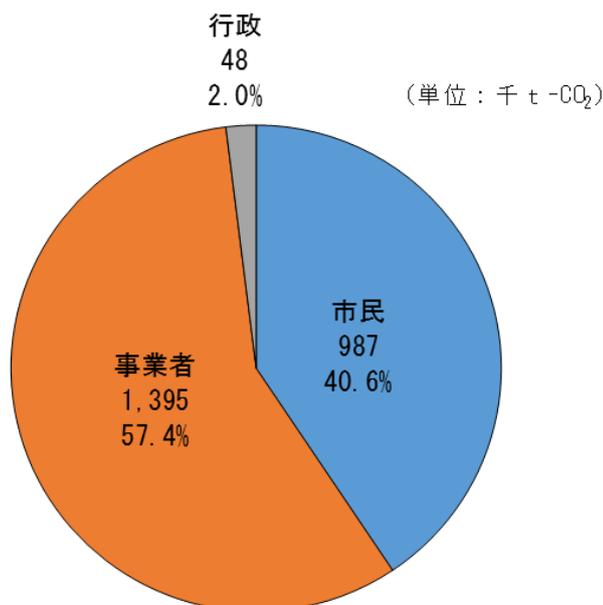
図3-1-3 部門別温室効果ガス排出量割合（平成29年度）



### 3) 主体別の温室効果ガス排出量

本市の平成29年度温室効果ガス排出量を主体別にみると、市民からの排出量が987千t-CO<sub>2</sub>（排出量全体の40.6%）、事業者からの排出量が1,395千t-CO<sub>2</sub>（同57.4%）、行政からの排出量が48千t-CO<sub>2</sub>（同2.0%）となっています。

図3-1-4 主体別温室効果ガス排出量（平成29年度）



注 市民からの排出量＝家庭部門＋運輸部門  
 注 事業者からの排出量＝産業部門＋業務部門＋運輸部門＋農業分野  
 注 行政からの排出量＝廃棄物分野

#### 4) 燃料種別のCO<sub>2</sub>排出量

本市の平成29年度温室効果ガス排出量のうち、廃棄物部門を除くエネルギー起源CO<sub>2</sub> (2,367千t-CO<sub>2</sub>) を燃料種別にみると、電力45.8%、ガソリン19.7%、軽質油製品13.1%、その他の順になっており、上位3種別で全体の約8割を占めています。

図3-1-5 燃料種別CO<sub>2</sub>排出量 (平成29年度)

